

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	専門学校デジタルアーツ仙台
設置者名	学校法人 菅原学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
工業専門課程	応用情報システム科	夜・通信	1440 時間	240 時間	
	IT ソリューション科	夜・通信	1560 時間	160 時間	
文化・教養専門課程	ミュージックスタッフ科 コンサートプロデュース専攻	夜・通信	1710 時間	160 時間	
	ミュージックスタッフ科 舞台美術照明専攻	夜・通信	2280 時間	160 時間	
	ミュージックスタッフ科 PA エンジニア専攻	夜・通信	1740 時間	160 時間	
	ミュージックスタッフ科 レコーディング・MA 専攻	夜・通信	1860 時間	160 時間	
	声優科	夜・通信	1080 時間	160 時間	
	声優アーティスト科 声優タレント専攻	夜・通信	1020 時間	160 時間	
	声優アーティスト科 ヴォーカルタレント専攻	夜・通信	1020 時間	160 時間	
工業専門課程	イラスト・マンガアニメ科 イラスト・マンガ専攻	夜・通信	2130 時間	160 時間	
	イラスト・マンガアニメ科 アニメーター専攻	夜・通信	2070 時間	160 時間	
	ゲームクリエイター科 ゲームプランナー専攻	夜・通信	1980 時間	240 時間	
	ゲームクリエイター科 ゲームプログラマ専攻	夜・通信	1980 時間	240 時間	
	CGクリエイター科 CG 動画クリエイター専攻	夜・通信	2040 時間	160 時間	

工業専門課程	CGクリエイター科 3Dモデラー専攻	夜・通信	2370 時間	160 時間	
	デザイン科 Webデザイン専攻	夜・通信	2040 時間	160 時間	
	デザイン科 グラフィックデザイン専攻	夜・通信	2160 時間	160 時間	
	デザイン科 映像デザイン専攻	夜・通信	2100 時間	160 時間	
<p>(備考)</p> <p>「声優アーティスト科」は、今年度から学科名を「声優科」に変更。今年度の2年生は旧学科名のまま。</p> <p>「イラスト・マンガアニメ科」は今年度1年生から「工業専門課程」へ変更。</p> <p>「ゲームクリエイター科」は今年度1年生から「工業専門課程」へ変更。</p> <p>「CGクリエイター科」は今年度1年生から「工業専門課程」へ変更。</p> <p>「デザイン科」は今年度1年生から「工業専門課程」へ変更。</p> <p>「応用情報システム科」は令和6年度から学科名、修業年限変更（2年→3年）。 今年度は新課程の1、2年生のみ在籍</p> <p>「ゲームクリエイター科」は令和6年度から修業年限変更（2年→3年）。 今年度は新課程の1、2年生のみ在籍</p>					

## 2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

シラバスで確認

<https://das.ac.jp/schoolinfo/shugaku/>

## 3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	専門学校デジタルアーツ仙台
設置者名	学校法人菅原学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページ <a href="http://www.sugawara.ac.jp/">http://www.sugawara.ac.jp/</a>
---

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	会社役員	2022年6月1日 ～ 2026年5月31日 (4年)	学園の経営計画全般についての的確なアドバイス
非常勤	会社役員	2022年6月1日 ～ 2026年5月31日 (4年)	学園予算について財務運営上の的確なアドバイス
非常勤	会社役員	2025年4月1日 ～ 令和9年度定時評議員会終結のときまで	学園事業計画と事業構想についての的確なアドバイス
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	専門学校デジタルアーツ仙台
設置者名	学校法人菅原学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施前年度に外部委員を含む教育課程編成委員会を開催し、委員会の意見等を反映し、9月に変更箇所があれば県へ学則変更を届け出て、教育課程を確定する。</li> <li>・授業方法・内容(使用教科書等含)について確認・検討を行い、その後にシラバスの修正、作成を行う。作成は原則授業担当者とし、実施する前年度中に行う。</li> <li>・シラバスを年度の授業開始1時間目に学生に示し、授業科目の内容等を説明し、授業の概要を理解させ、教科目の内容に興味関心を持って計画的に学習に取り組めるようにする。</li> <li>・シラバスには以下の情報を記載する。 授業科目名、授業担当者、授業担当者の実務経験の有無、教科書名、単位数、時間数、開講(学科、学年、学期、科目種別)、授業方法、授業概要、学習到達目標、評価方法、スケジュール(時数、授業内容、到達目標・学習課題)</li> </ul>	
授業計画書の公表方法	<p>ホームページ  <a href="https://das.ac.jp/schoolinfo/shugaku/">https://das.ac.jp/schoolinfo/shugaku/</a></p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学年末において、各学期末に行う試験、課題の成果、履修状況等を総合勘案して行う。評価結果の示しかたは100点法とし50点以上を合格とする。合格者に対して当該科目の修了を認定する。また、各学科の授業科目について、出席時間数が4分の3に満たない者は、当該科目の履修の認定はしない。</li> <li>・各教科目の評価結果に基づきの、成績評価はA、B、C、Dの4段階で判定し、C以上を合格とする。</li> </ul>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>※GPAは導入していない。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・成績管理には学園システムを使用し、各科目担当者より提出された評価結果をクラス担任が入力している。</li> <li>・入力された各科目の評価結果から、学科ごとと学年別（全学科各学年1クラス編成）に成績一覧表を作成する。その際、個人の各教科の評価結果から平均点を算出し一覧に表示している。</li> <li>・学科ごとに全体の傾向を把握するために、個人の平均点を用いて度数分布表を作成している。</li> <li>・専門学校である本校では、優れた成績を得ることと、目指す職種に必要となる資格を取得し、就職することが目標となる中で、個々の成績平均値から学生の学習到達状況を把握している。</li> <li>・なお、評価結果については個人ごとに通知するとともに保護者への通知も行っている。</li> </ul>	
客観的な指標の算出方法の公表方法	<p>ホームページ</p> <p><a href="https://das.ac.jp/schoolinfo/shugaku/">https://das.ac.jp/schoolinfo/shugaku/</a></p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>ディプロマ・ポリシー)</p> <p>卒業認定方針として、各科所定の修業年限以上在籍し、以下のような能力を身につけ課程を修了したと認定されたものに卒業を認め、専門士の称号を付与する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目指す職業に求められる知識・技術を身につけ、その資格を有している。</li> <li>・基本的な生活習慣および人間力を身につけている。</li> <li>・自他を理解し、職場や地域社会に適応し、活躍出来る社会人基礎力を身につけている。</li> </ul> <p>〈卒業の認定〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業科目の成績評価に基づいて、校長は課程修了の判定を行い、所定の在学年限以上在学し、課程を修了したと認めた者には、卒業証書を授与する。</li> </ul>	
卒業の認定に関する方針の公表方法	<p>ホームページ</p> <p><a href="https://das.ac.jp/schoolinfo/shugaku/">https://das.ac.jp/schoolinfo/shugaku/</a></p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	専門学校デジタルアーツ仙台
設置者名	学校法人菅原学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	ホームページ <a href="https://www.sugawara.ac.jp">https://www.sugawara.ac.jp</a>
収支計算書又は損益計算書	ホームページ <a href="https://www.sugawara.ac.jp">https://www.sugawara.ac.jp</a>
財産目録	ホームページ <a href="https://www.sugawara.ac.jp">https://www.sugawara.ac.jp</a>
事業報告書	ホームページ <a href="https://www.sugawara.ac.jp">https://www.sugawara.ac.jp</a>
監事による監査報告（書）	ホームページ <a href="https://www.sugawara.ac.jp">https://www.sugawara.ac.jp</a>

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	応用情報システム科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼間	2910 単位時間	810 単位 時間	1020 単位 時間	240 単位 時間	単位時間	単位時間
			<b>2070 単位時間</b>				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60人		8人	0人	3人	13人	16人	
カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）							
（概要）							
<ul style="list-style-type: none"> <li>企業委員も含む教育編成会議を実施して教育内容を検討する。</li> <li>実施前年度9月に変更があれば県へ学則変更を届け出て教育課程を確定する。</li> <li>授業方法・内容（使用教科書等含）について確認・検討を行い、その後にシラバスの修正、作成を行う。作成は原則授業担当者とし、実施する前年度中に行う。</li> <li>シラバスを示し、授業科目の内容等を説明し、授業の概要を理解させ、教科目の内容に興味関心を持って計画的に学習に取り組めるようにする。</li> </ul>							
成績評価の基準・方法							
（概要）							
実技試験、筆記試験、出席率、通常授業態度等を総合的に評価し、5割以上の評価（C段階以上）で単位取得とする。							
卒業・進級の認定基準							
（概要）							
<ul style="list-style-type: none"> <li>各授業科目において4分の3以上の出席をすること。</li> <li>一般教養科目、専門教育科目の必修科目を履修すること。</li> <li>卒業・進級判定会議において卒業・進級に相応しいと判断された者。</li> </ul>							
学修支援等							

(概要) ・担任との個別面談 ・教頭、カウンセラーによるカウンセリングの実施
--

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0人 ( )	0人 ( 0%)	0人 ( 0%)	0人 ( 0%)
(主な就職、業界等) ＊令和8年度に卒業生を輩出予定			
(就職指導内容) 模擬面接、履歴書作成指導、適性試験対策指導、関連業界企業による業界説明会 等			
(主な学修成果（資格・検定等）)			
(備考)（任意記載事項） 令和6年度より修業年限を3年として新入生受け入れ。 今年度は1年生・2年生のみ在籍。			

中途退学者の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) ・定期的に保護者宛に出席状況の文書を発送している。 ・出席不良になる手前での面談（担任または課長、副校長）を実施。 また欠席時の保護者への連絡等を密におこない、家庭での声掛けなども含め、 学校保護者間とで状況を把握している。 ・学生アンケートを実施している。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	ITソリューション科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	2070 単位時間	780 単位 時間	990 単位 時間	300 単位 時間	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			2070 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40 人		14 人	1 人	3 人	13 人	16 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企業委員も含む教育編成会議を実施して教育内容を検討する。</li> <li>・実施前年度9月に変更があれば県へ学則変更を届け出て教育課程を確定する。</li> <li>・授業方法・内容（使用教科書等含）について確認・検討を行い、その後にシラバスの修正、作成を行う。作成は原則授業担当者とし、実施する前年度中に行う。</li> <li>・シラバスを示し、授業科目の内容等を説明し、授業の概要を理解させ、教科目の内容に興味関心を持って計画的に学習に取り組めるようにする。</li> </ul>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>実技試験、筆記試験、出席率、通常授業態度等を総合的に評価し、5割以上の評価（C段階以上）で単位取得とする。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各授業科目において4分の3以上の出席をすること。</li> <li>・一般教養科目、専門教育科目の必修科目を履修すること。</li> <li>・卒業・進級判定会議において卒業・進級に相応しいと判断された者。</li> </ul>
学修支援等
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・担任との個別面談</li> <li>・カウンセラーによるカウンセリングの実施</li> </ul>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
6人 (100%)	0人 (0%)	6人 (100%)	0人 (0%)
<p>（主な就職、業界等）</p> <p>株式会社トインクス、アルティウスリンク株式会社、アルファテクノロジー株式会社 他、IT関連企業</p>			
<p>（就職指導内容）</p> <p>模擬面接、履歴書作成指導、適性試験対策指導、関連業界企業による業界説明会 等</p>			

(主な学修成果 (資格・検定等)) 基本情報処理試験、ITパスポート、情報検定 (J検) MOS検定、ビジネス能力検定ジョブパス、簿記検定 など (備考) (任意記載事項)
---

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
13人	1人	7.7%
(中途退学の主な理由) 家庭の経済的事由		
(中退防止・中退者支援のための取組) ・定期的に保護者宛に出席状況の文書を発送している。 ・出席不良になる手前での面談 (担任および課長、副校長) を実施。 また欠席時の保護者への連絡等を密におこない、家庭での声掛けなども含め、 学校保護者間とで状況を把握している。 ・学生アンケートを実施している。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化教養課程	ミュージックスタッフ科 コンサートプロデュース専攻	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	2010 単位時間/単位	360時間/ 単位	360時間/ 単位	1290時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			2010単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
120人	119人	0人	6人	14人	20人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企業委員も含む教育編成会議を実施して教育内容を検討する。</li> <li>・実施前年度9月に変更があれば県へ学則変更を届け出て教育課程を確定する。</li> <li>・授業方法・内容（使用教科書等含）について確認・検討を行い、その後にシラバスの修正、作成を行う。作成は原則授業担当者とし、実施する前年度中に行う。</li> <li>・シラバスを示し、授業科目の内容等を説明し、授業の概要を理解させ、教科目の内容に興味関心を持って計画的に学習に取り組めるようにする。</li> </ul>
<p>成績評価の基準・方法</p> <p>（概要）</p> <p>実技試験、筆記試験、出席率、通常授業態度等を総合的に評価し、5割以上の評価（C段階以上）で単位取得とする。</p>
<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各授業科目において4分の3以上の出席をすること。</li> <li>・一般教養科目、専門教育科目の必修科目を履修すること。</li> <li>・卒業・進級判定会議において卒業・進級に相応しいと判断された者。</li> </ul>
<p>学修支援等</p> <p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・担任、学科長との個別面談</li> <li>・カウンセラーによるカウンセリングの実施</li> </ul>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
61人 (100%)	0人 (0%)	57人 (93.4%)	4人 (6.6%)
<p>（主な就職、業界等）</p> <p>株式会社スターダストプロモーション、株式会社キャロルファンデーション</p>			
<p>（就職指導内容）</p> <p>模擬面接、履歴書作成指導、適性試験対策指導、関連業界企業による業界説明会</p>			

<p>(主な学修成果 (資格・検定等))</p> <p>舞台機構調整技能士、ビジネス能力検定ジョブパス</p>
<p>(備考) (任意記載事項)</p> <p>『生徒実員』、卒業生数の割合及び中途退学者数の割合はミュージックスタッフ科全体の情報です。</p>

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
119 人	2 人	1.7%
<p>(中途退学の主な理由)</p> <p>進路変更 2</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的に保護者宛に出席状況の文書を発送している。</li> <li>・出席不良になる手前での面談 (担任または課長、副校長) を実施。また欠席時の保護者への連絡等を密に行い、家庭での声掛けなども含め学校保護者間とで状況を把握 している。</li> <li>・学生アンケートを実施している。</li> </ul>		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化教養課程	ミュージックスタッフ科 舞台美術照明専攻	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	2010 単位時間/単位	360時間/ 単位	360時間/ 単位	1290時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			2010 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120人		119人	0人	6人	14人	20人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） ・企業委員も含む教育編成会議を実施して教育内容を検討する。 ・実施前年度9月に変更があれば県へ学則変更を届け出て教育課程を確定する。 ・授業方法・内容（使用教科書等含）について確認・検討を行い、その後にシラバスの修正、作成を行う。作成は原則授業担当者とし、実施する前年度中に行う。 ・シラバスを示し、授業科目の内容等を説明し、授業の概要を理解させ、教科目の内容に興味関心を持って計画的に学習に取り組めるようにする。
成績評価の基準・方法
（概要） 実技試験、筆記試験、出席率、通常授業態度等を総合的に評価し、5割以上の評価（C段階以上）で単位取得とする。
卒業・進級の認定基準
（概要） ・各授業科目において4分の3以上の出席をすること。 ・一般教養科目、専門教育科目の必修科目を履修すること。 ・卒業・進級判定会議において卒業・進級に相応しいと判断された者。
学修支援等
（概要） ・担任、学科長との個別面談 ・カウンセラーによるカウンセリングの実施

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
61人 (100%)	0人 (0%)	57人 (93.4%)	4人 (6.6%)
（主な就職、業界等） 株式会社共立ライティング、株式会社 東北共立			
（就職指導内容） 模擬面接、履歴書作成指導、適性試験対策指導、関連業界企業による業界説明会			

<p>(主な学修成果(資格・検定等))</p> <p>舞台機構調整技能士、ビジネス能力検定ジョブパス</p>
<p>(備考) (任意記載事項)</p> <p>『生徒実員』、卒業生数の割合及び中途退学者数の割合はミュージックスタッフ科全体の情報です。</p>

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
119人	2人	1.7%
<p>(中途退学の主な理由)</p> <p>進路変更 2</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>定期的には保護者宛に出席状況の文書を発送している。</li> <li>出席不良になる手前での面談(担任または課長、副校長)を実施。また欠席時の保護者への連絡等を密に行い、家庭での声掛けなども含め学校保護者間とで状況を把握している。</li> <li>学生アンケートを実施している。</li> </ul>		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化教養課程	ミュージックスタッフ科 PAエンジニア専攻	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	2010 単位時間/単位	360時間/ 単位	360時間/ 単位	1290時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			2010 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120人		119人	0人	6人	14人	20人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） ・企業委員も含む教育編成会議を実施して教育内容を検討する。 ・実施前年度9月に変更があれば県へ学則変更を届け出て教育課程を確定する。 ・授業方法・内容（使用教科書等含）について確認・検討を行い、その後にシラバスの修正、作成を行う。作成は原則授業担当者とし、実施する前年度中に行う。 ・シラバスを示し、授業科目の内容等を説明し、授業の概要を理解させ、教科目の内容に興味関心を持って計画的に学習に取り組めるようにする。
成績評価の基準・方法
（概要） 実技試験、筆記試験、出席率、通常授業態度等を総合的に評価し、5割以上の評価（C段階以上）で単位取得とする。
卒業・進級の認定基準
（概要） ・各授業科目において4分の3以上の出席をすること。 ・一般教養科目、専門教育科目の必修科目を履修すること。 ・卒業・進級判定会議において卒業・進級に相応しいと判断された者。
学修支援等
（概要） ・担任、学科長との個別面談 ・カウンセラーによるカウンセリングの実施

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
61人 (100%)	0人 (0%)	57人 (93.4%)	4人 (6.6%)
（主な就職、業界等） MSI JAPAN ホールディングス、東京音響通信研究所、株式会社サンフォニックス			
（就職指導内容） 模擬面接、履歴書作成指導、適性試験対策指導、関連業界企業による業界説明会			

<p>(主な学修成果(資格・検定等))</p> <p>舞台機構調整技能士、ビジネス能力検定ジョブパス</p>
<p>(備考) (任意記載事項)</p> <p>『生徒実員』、卒業生数の割合及び中途退学者数の割合はミュージックスタッフ科全体の情報です。</p>

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
119人	2人	1.7%
<p>(中途退学の主な理由)</p> <p>進路変更 2</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>定期的には保護者宛に出席状況の文書を発送している。</li> <li>出席不良になる手前での面談(担任または課長、副校長)を実施。また欠席時の保護者への連絡等を密に行い、家庭での声掛けなども含め学校保護者間とで状況を把握している。</li> <li>学生アンケートを実施している。</li> </ul>		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化教養課程	ミュージックスタッフ科 レコーディング・MA 専攻	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	2010 単位時間/単位	360時間/ 単位	360時間/ 単位	1290時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			2010 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120人		119人	0人	6人	14人	20人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企業委員も含む教育編成会議を実施して教育内容を検討する。</li> <li>・実施前年度9月に変更があれば県へ学則変更を届け出て教育課程を確定する。</li> <li>・授業方法・内容（使用教科書等含）について確認・検討を行い、その後にシラバスの修正、作成を行う。作成は原則授業担当者とし、実施する前年度中に行う。</li> <li>・シラバスを示し、授業科目の内容等を説明し、授業の概要を理解させ、教科目の内容に興味関心を持って計画的に学習に取り組めるようにする。</li> </ul>	
成績評価の基準・方法	
<p>（概要）</p> <p>実技試験、筆記試験、出席率、通常授業態度等を総合的に評価し、5割以上の評価（C段階以上）で単位取得とする。</p>	
卒業・進級の認定基準	
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各授業科目において4分の3以上の出席をすること。</li> <li>・一般教養科目、専門教育科目の必修科目を履修すること。</li> <li>・卒業・進級判定会議において卒業・進級に相応しいと判断された者。</li> </ul>	
学修支援等	
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・担任、学科長との個別面談</li> <li>・カウンセラーによるカウンセリングの実施</li> </ul>	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
61人 (100%)	0人 (0%)	57人 (93.4%)	4人 (6.6%)
<p>（主な就職、業界等）</p> <p>株式会社アバコ撮影スタジオ、株式会社サウンド・シティ</p>			
<p>（就職指導内容）</p> <p>模擬面接、履歴書作成指導、適性試験対策指導、関連業界企業による業界説明会</p>			

<p>(主な学修成果(資格・検定等))</p> <p>舞台機構調整技能士、ビジネス能力検定ジョブパス</p>
<p>(備考) (任意記載事項)</p> <p>『生徒実員』、卒業生数の割合及び中途退学者数の割合はミュージックスタッフ科全体の情報です。</p>

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
119人	2人	1.7%
<p>(中途退学の主な理由)</p> <p>進路変更 2</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的に保護者宛に出席状況の文書を発送している。</li> <li>・出席不良になる手前での面談(担任または課長、副校長)を実施。また欠席時の保護者への連絡等を密に行い、家庭での声掛けなども含め学校保護者間とで状況を把握している。</li> <li>・学生アンケートを実施している。</li> </ul>		

分野		課程名	学科名		専門士	高度専門士	
文化・教養		文化教養課程	声優アーティスト科 声優タレント専攻		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1920 単位時間/単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	900 単位 時間/単 位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			900 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
20人		8人	人	1人	10人	11人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企業委員も含む教育編成会議を実施して教育内容を検討する。</li> <li>・実施前年度9月までに県へ学則変更を届け出て教育課程を確定する。</li> <li>・授業方法・内容（使用教科書等含）について確認・検討を行い、その後にシラバスの修正、作成を行う。作成は原則授業担当者とし、実施する前年度中に行う。</li> <li>・シラバスを示し、授業科目の内容等を説明し、授業の概要を理解させ、教科目の内容に興味関心を持って計画的に学習に取り組めるようにする。</li> </ul>	
成績評価の基準・方法	
<p>（概要）</p> <p>実技試験、筆記試験、出席率、通常授業態度等を総合的に評価し、5割以上の評価（C段階以上）で単位取得とする。</p>	
卒業・進級の認定基準	
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各授業科目において4分の3以上の出席をすること。</li> <li>・一般教養科目、専門教育科目の必修科目を履修すること。</li> <li>・卒業・進級判定会議において卒業・進級に相応しいと判断された者。</li> </ul>	
学修支援等	
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・担任、課長、副校長との個別面談</li> <li>・カウンセラーによるカウンセリングの実施</li> </ul>	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
7人 (100%)	人 (%)	3人 (42.9%)	4人 (57.1%)
<p>（主な就職、業界等）</p> <p>声優養成所・芸能プロダクション</p>			
<p>（就職指導内容）</p> <p>オーディションの実施、一般就職希望の学生には面接・履歴書の指導を実施</p>			

(主な学修成果 (資格・検定等)) ビジネス能力検定ジョブパス 3 級
(備考) (任意記載事項) 『生徒実員』、卒業者数の割合及び中途退学者数の割合は声優アーティスト科全体の情報です。

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
16 人	0 人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組)		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的に保護者宛に出席状況の文書を発送している。</li> <li>・出席不良になる手前での面談 (担任または課長、副校長) を実施。また欠席時の保護者への連絡等を密に行い、家庭での声掛けなども含め学校保護者間とで状況を把握している。</li> <li>・学生アンケートを実施している。</li> </ul>		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化教養課程	声優アーティスト科 ヴォーカルタレント専攻	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1920 単位時間/単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	900 単位 時間/単 位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			900 単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
20人	3人	人	1人	10人	11人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企業委員も含む教育編成会議を実施して教育内容を検討する。</li> <li>・実施前年度9月までに県へ学則変更を届け出て教育課程を確定する。</li> <li>・授業方法・内容（使用教科書等含）について確認・検討を行い、その後にシラバスの修正、作成を行う。作成は原則授業担当者とし、実施する前年度中に行う。</li> <li>・シラバスを示し、授業科目の内容等を説明し、授業の概要を理解させ、教科目の内容に興味関心を持って計画的に学習に取り組めるようにする。</li> </ul>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>実技試験、筆記試験、出席率、通常授業態度等を総合的に評価し、5割以上の評価（C段階以上）で単位取得とする。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各授業科目において4分の3以上の出席をすること。</li> <li>・一般教養科目、専門教育科目の必修科目を履修すること。</li> <li>・卒業・進級判定会議において卒業・進級に相応しいと判断された者。</li> </ul>
学修支援等
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・担任、課長、副校長との個別面談</li> <li>・カウンセラーによるカウンセリングの実施</li> </ul>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
7人 (100%)	人 (%)	3人 (42.9%)	4人 (57.1%)
<p>（主な就職、業界等）</p> <p>声優養成所・芸能プロダクション</p>			
<p>（就職指導内容）</p> <p>オーディションの実施、一般就職希望の学生には面接・履歴書の指導を実施</p>			

(主な学修成果 (資格・検定等)) ビジネス能力検定ジョブパス 3 級
(備考) (任意記載事項) 『生徒実員』、卒業生数の割合及び中途退学者数の割合は声優アーティスト科全体の情報です。

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
16 人	0 人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組)		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的に保護者宛に出席状況の文書を発送している。</li> <li>・出席不良になる手前での面談 (担任または課長、副校長) を実施。また欠席時の保護者への連絡等を密に行い、家庭での声掛けなども含め学校保護者間とで状況を把握している。</li> <li>・学生アンケートを実施している。</li> </ul>		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化教養課程	声優科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1980 単位時間/単位	120 単位 時間/単位	単位時間 /単位	840 単位 時間/単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			960 単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
20人	5人	人	1人	10人	11人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企業委員も含む教育編成会議を実施して教育内容を検討する。</li> <li>・実施前年度9月までに県へ学則変更を届け出て教育課程を確定する。</li> <li>・授業方法・内容（使用教科書等含）について確認・検討を行い、その後にシラバスの修正、作成を行う。作成は原則授業担当者とし、実施する前年度中に行う。</li> <li>・シラバスを示し、授業科目の内容等を説明し、授業の概要を理解させ、教科目の内容に興味関心を持って計画的に学習に取り組めるようにする。</li> </ul>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>実技試験、筆記試験、出席率、通常授業態度等を総合的に評価し、5割以上の評価（C段階以上）で単位取得とする。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各授業科目において4分の3以上の出席をすること。</li> <li>・一般教養科目、専門教育科目の必修科目を履修すること。</li> <li>・卒業・進級判定会議において卒業・進級に相応しいと判断された者。</li> </ul>
学修支援等
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・担任、課長、副校長との個別面談</li> <li>・カウンセラーによるカウンセリングの実施</li> </ul>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
7人 (100%)	人 (%)	3人 (42.9%)	4人 (57.1%)
<p>（主な就職、業界等）</p> <p>声優養成所・芸能プロダクション</p>			
<p>（就職指導内容）</p> <p>オーディションの実施、一般就職希望の学生には面接・履歴書の指導を実施</p>			
<p>（主な学修成果（資格・検定等））</p> <p>ビジネス能力検定ジョブパス3級</p>			

(備考) (任意記載事項)

令和7年度から学科名を「声優アーティスト科」から変更。専攻分けは無し。

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
16人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) <ul style="list-style-type: none"><li>・定期的に保護者宛に出席状況の文書を発送している。</li><li>・出席不良になる手前での面談(担任または課長、副校長)を実施。また欠席時の保護者への連絡等を密に行い、家庭での声掛けなども含め学校保護者間とで状況を把握している。</li><li>・学生アンケートを実施している。</li></ul>		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	イラスト・マンガアニメ科 イラスト・マンガ専攻	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1830 単位時間/単位	120 時間	時間	1710 時 間	時間	時間
			1830 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40 人		61 人	0 人	3 人	7 人	10 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企業委員も含む教育編成会議を実施して教育内容を検討する。</li> <li>・実施前年度9月に変更があれば県へ学則変更を届け出て教育課程を確定する。</li> <li>・授業方法・内容（使用教科書等含）について確認・検討を行い、その後にシラバスの修正、作成を行う。作成は原則授業担当者とし、実施する前年度中に行う。</li> <li>・シラバスを示し、授業科目の内容等を説明し、授業の概要を理解させ、教科目の内容に興味関心を持って計画的に学習に取組めるようにする。</li> </ul>	
成績評価の基準・方法	
<p>（概要）</p> <p>実技試験、筆記試験、出席率、通常授業態度等を総合的に評価し、5割以上の評価（C段階以上）で単位取得とする。</p>	
卒業・進級の認定基準	
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各授業科目において4分の3以上の出席をすること。</li> <li>・一般教養科目、専門教育科目の必修科目を履修すること。</li> <li>・卒業・進級判定会議において卒業・進級に相応しいと判断された者。</li> </ul>	
学修支援等	
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・担任、課長、副校長との個別面談</li> <li>・カウンセラーによるカウンセリングの実施</li> </ul>	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
30 人 (100%)	1 人 ( 3.3%)	17 人 ( 56.7%)	12 人 ( 40%)
<p>(主な就職、業界等)</p> <p>(株)手塚プロダクション、(株)MAPPA、(株)東洋ワーク (株)アウトソーシング</p>			
<p>(就職指導内容)</p> <p>出版社批評会、 模擬面接、履歴書作成指導、適性試験対策指導、 関連業界企業による業界説明会</p>			

(主な学修成果(資格・検定等)) 似顔絵検定
(備考)(任意記載事項) 『生徒実員』、卒業生数の割合及び中途退学者数の割合はイラスト・マンガアニメ科全体の情報です。

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
60 人	1 人	1.7%
(中途退学の主な理由) 経済事情		
(中退防止・中退者支援のための取組) ・定期的に保護者宛に出席状況の文書を発送している。 ・出席不良になる手前での面談(担任または課長、副校長)を実施。また欠席時の保護者への連絡等を密におこない、家庭での声掛けなども含め学校保護者間とで状況を把握している。 ・学生アンケートを実施している。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
工業	工業専門課程	イラスト・マンガアニメ科 アニメーター専攻	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1860 単位時間/単位	120 時間	時間	1740 時間	時間	時間
			1860 単位時間				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
40 人	61 人	0 人	3 人	7 人	10 人		

カリキュラム(授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) ・企業委員も含む教育編成会議を実施して教育内容を検討する。 ・実施前年度9月に変更があれば県へ学則変更を届け出て教育課程を確定する。 ・授業方法・内容(使用教科書等含)について確認・検討を行い、その後にシラバスの修正、作成を行う。作成は原則授業担当者とし、実施する前年度中に行う。 ・シラバスを示し、授業科目の内容等を説明し、授業の概要を理解させ、教科目の内容に興味関心を持って計画的に学習に取組めるようにする。
成績評価の基準・方法
(概要) 実技試験、筆記試験、出席率、通常授業態度等を総合的に評価し、5割以上の評価(C段階以上)で単位取得とする。
卒業・進級の認定基準

<p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各授業科目において4分の3以上の出席をすること。</li> <li>一般教養科目、専門教育科目の必修科目を履修すること。</li> <li>卒業・進級判定会議において卒業・進級に相応しいと判断された者。</li> </ul>
学修支援等
<p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>担任との個別面談</li> <li>カウンセラーによるカウンセリングの実施</li> </ul>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
30人 (100%)	1人 ( 3.3%)	17人 ( 56.7%)	12人 ( 40%)
<p>(主な就職、業界等)</p> <p>(株)手塚プロダクション、(株)MAPPA、(株)東洋ワーク (株)アウトソーシング</p>			
<p>(就職指導内容)</p> <p>出版社批評会、 模擬面接、履歴書作成指導、適性試験対策指導、 関連業界企業による業界説明会</p>			
<p>(主な学修成果（資格・検定等）)</p> <p>似顔絵検定</p>			
<p>(備考)（任意記載事項）</p> <p>『生徒実員』、卒業生数の割合及び中途退学者数の割合はイラスト・マンガアニメ科全体の情報です。</p>			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
60 人	1 人	1.7%
<p>(中途退学の主な理由)</p> <p>進路変更、病気療養</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>定期的に保護者宛に出席状況の文書を発送している。</li> <li>出席不良になる手前での面談（担任または課長、副校長）を実施。また欠席時の保護者への連絡等を密におこない、家庭での声掛けなども含め学校保護者間とで状況を把握している。</li> <li>学生アンケートを実施している。</li> </ul>		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士	
工業		工業専門課程	ゲームクリエイター科 ゲームプランナー専攻	○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類			
			講義	演習	実習	実験
3年	昼間	2610 単位時間/単位	1380 単位時間		480 単位 時間	単位時間 /単位
			1860 単位時間			
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60人	25人	0人	2人	3人	5人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企業委員も含む教育編成会議を実施して教育内容を検討する。</li> <li>・実施前年度9月に変更があれば県へ学則変更を届け出て教育課程を確定する。</li> <li>・授業方法・内容（使用教科書等含）について確認・検討を行い、その後にシラバスの修正、作成を行う。作成は原則授業担当者とし、実施する前年度中に行う。</li> <li>・シラバスを示し、授業科目の内容等を説明し、授業の概要を理解させ、教科目の内容に興味関心を持って計画的に学習に取り組めるようにする。</li> </ul>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>実技試験、筆記試験、出席率、通常授業態度等を総合的に評価し、5割以上の評価（C段階以上）で単位取得とする。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各授業科目において4分の3以上の出席をすること。</li> <li>・一般教養科目、専門教育科目の必修科目を履修すること。</li> <li>・卒業・進級判定会議において卒業・進級に相応しいと判断された者。</li> </ul>
学修支援等
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・担任、課長、副校長との個別面談</li> <li>・カウンセラーによるカウンセリングの実施</li> </ul>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0人 (100%)	0人 (0%)	0人 (0%)	0人 (0%)
<p>（主な就職、業界等）</p> <p>*令和8年度に卒業生を輩出予定</p>			
<p>（就職指導内容）</p> <p>模擬面接、履歴書作成指導、適性試験対策指導、関連業界企業による業界説明会</p>			

(主な学修成果 (資格・検定等)) 文部科学省後援 情報検定、文部科学省後援ビジネス能力検定ジョブパス
(備考) (任意記載事項) 『生徒実員』、卒業生数の割合及び中途退学者数の割合はゲームクリエイター科 (2年課程) 全体の情報です。令和6年度より修業年限を3年として新入生受け入れ。 今年度は1年生・2年生のみ在籍。

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
10 人	0 人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) ・定期的に保護者宛に出席状況の文書を発送している。 ・出席不良になる手前での面談 (担任または課長、副校長) を実施。 また欠席時の保護者への連絡等を密におこない、家庭での声掛けなども含め、 学校保護者間とで状況を把握している。 ・学生アンケートを実施している。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	ゲームクリエイター科 ゲームプログラマ専攻	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼間	2610 単位時間/単位	1380 単位時間		480 単位 時間	単位時間 /単位	
				1860 単位時間			
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60 人		25 人	0 人	2 人	3 人	5 人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) ・企業委員も含む教育編成会議を実施して教育内容を検討する。 ・実施前年度9月に変更があれば県へ学則変更を届け出て教育課程を確定する。 ・授業方法・内容 (使用教科書等含) について確認・検討を行い、その後にシラバスの修正、作成を行う。作成は原則授業担当者とし、実施する前年度中に行う。 ・シラバスを示し、授業科目の内容等を説明し、授業の概要を理解させ、教科目の内容に興味関心を持って計画的に学習に取り組めるようにする。
成績評価の基準・方法
(概要) 実技試験、筆記試験、出席率、通常授業態度等を総合的に評価し、5割以上の評価 (C段階以上) で単位取得とする。

卒業・進級の認定基準
(概要) <ul style="list-style-type: none"> <li>各授業科目において4分の3以上の出席をすること。</li> <li>一般教養科目、専門教育科目の必修科目を履修すること。</li> <li>卒業・進級判定会議において卒業・進級に相応しいと判断された者。</li> </ul>
学修支援等
(概要) <ul style="list-style-type: none"> <li>担任、課長、副校長との個別面談</li> <li>カウンセラーによるカウンセリングの実施</li> </ul>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
0人 (100%)	0人 ( 0%)	0人 ( 0%)	0人 ( 0%)
(主な就職、業界等) *令和8年度に卒業生を輩出予定			
(就職指導内容) 模擬面接、履歴書作成指導、適性試験対策指導、関連業界企業による業界説明会			
(主な学修成果(資格・検定等)) 文部科学省後援 情報検定、文部科学省後援ビジネス能力検定ジョブパス			
(備考) (任意記載事項) 『生徒実員』、卒業生数の割合及び中途退学者数の割合はゲームクリエイター科(2年課程)全体の情報です。令和6年度より修業年限を3年として新入生受け入れ。 今年度は1年生・2年生のみ在籍。			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
10人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) <ul style="list-style-type: none"> <li>定期的に保護者宛に出席状況の文書を発送している。</li> <li>出席不良になる手前での面談(担任または課長、副校長)を実施。また欠席時の保護者への連絡等を密におこない、家庭での声掛けなども含め、学校保護者間とで状況を把握している。</li> <li>学生アンケートを実施している。</li> </ul>		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	CGクリエイター科 動画クリエイター専攻	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	2160 単位時間/単位	単位時間 /単位	180 単位 時間/単位	1980 単位 時間/単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			2160 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40 人		39 人の 内数	0 人	2 人の 内数	4 人の 内数	5 人の 内数	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企業委員も含む教育編成会議を実施して教育内容を検討する。</li> <li>・実施前年度9月までに県へ学則変更を届け出て教育課程を確定する。</li> <li>・授業方法・内容（使用教科書等含）について確認・検討を行い、その後にシラバスの修正、作成を行う。作成は原則授業担当者とし、実施する前年度中に行う。</li> <li>・シラバスを示し、授業科目の内容等を説明し、授業の概要を理解させ、教科目の内容に興味関心を持って計画的に学習に取り組めるようにする。</li> </ul>	
成績評価の基準・方法	
<p>（概要）実技試験、筆記試験、出席率、通常授業態度等を総合的に評価し、5割以上の評価（C段階以上）で単位取得とする。</p>	
卒業・進級の認定基準	
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各授業科目において4分の3以上の出席をすること。</li> <li>・一般教養科目、専門教育科目の必修科目を履修すること。</li> <li>・卒業・進級判定会議において卒業・進級に相応しいと判断された者。</li> </ul>	
学修支援等	
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・担任、課長、副校長との個別面談</li> <li>・カウンセラーによるカウンセリングの実施</li> </ul>	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
24 人 (100%)	0 人 ( %)	12 人 ( 50%)	12 人 ( 50%)
<p>（主な就職、業界等）</p> <p>(株)ガニユメート、(株)ワールドコーポレーション、日研トータルソーシング株式会社</p>			
<p>（就職指導内容）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企業応募用作品制作指導、ポートフォリオ制作指導、コンテスト応募作品制作指導</li> <li>・履歴書等作成指導、面接指導、就活計画立案指導、関連業界企業の学内企業説明会開催</li> </ul>			

(主な学修成果(資格・検定等)) CGクリエイター検定 ベーシック/エキスパート
(備考) (任意記載事項) 『生徒実員』、卒業者数の割合及び中途退学者数の割合はCGクリエイター科全体の情報です。

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
39人	2人	5.1%
(中途退学の主な理由) 進路変更、病気による出席不足		
(中退防止・中退者支援のための取組) <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的に保護者宛に出席状況の文書を発送している。</li> <li>・出席不良になる手前での面談(担任または課長、副校長)を実施。また欠席時の保護者への連絡等を密におこない、家庭での声掛けなども含め学校保護者間とで状況を把握している。</li> <li>・学生アンケートを実施している。</li> </ul>		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
工業	工業専門課程	CGクリエイター科 3Dモデラー専攻	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	2160 単位時間/単位	単位時間 /単位	180 単位 時間/単位	1980 単位 時間/単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			2160 単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
40人	39人の 内数	0人	2人の 内数	4人の 内数	5人の 内数		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企業委員も含む教育編成会議を実施して教育内容を検討する。</li> <li>・実施前年度9月までに県へ学則変更を届け出て教育課程を確定する。</li> <li>・授業方法・内容（使用教科書等含）について確認・検討を行い、その後にシラバスの修正、作成を行う。作成は原則授業担当者とし、実施する前年度中に行う。</li> <li>・シラバスを示し、授業科目の内容等を説明し、授業の概要を理解させ、教科目の内容に興味関心を持って計画的に学習に取り組めるようにする。</li> </ul>
<p>成績評価の基準・方法</p> <p>（概要）実技試験、筆記試験、出席率、通常授業態度等を総合的に評価し、5割以上の評価（C段階以上）で単位取得とする。</p>
<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各授業科目において4分の3以上の出席をすること。</li> <li>・一般教養科目、専門教育科目の必修科目を履修すること。</li> <li>・卒業・進級判定会議において卒業・進級に相応しいと判断された者。</li> </ul>
<p>学修支援等</p> <p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・担任、課長、副校長との個別面談</li> <li>・カウンセラーによるカウンセリングの実施</li> </ul>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
24人 （100%）	人 （ %）	12人 （ 50%）	12人 （ 50%）
<p>（主な就職、業界等）</p> <p>（株）新幹線リフテクノロジー、（株）レッドバロン、（株）久慈琥珀株式会社</p>			
<p>（就職指導内容）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企業応募用作品制作指導、ポートフォリオ制作指導、コンテスト応募作品制作指導</li> <li>・履歴書等作成指導、面接指導、就活計画立案指導、関連業界企業の学内企業説明会開催</li> </ul>			

(主な学修成果(資格・検定等)) CGクリエイター検定 ベーシック/エキスパート
(備考) (任意記載事項) 『生徒実員』、卒業者数の割合及び中途退学者数の割合はCGクリエイター科全体の情報です。

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
39人	2人	5.1%
(中途退学の主な理由) 進路変更、病気による出席不足		
(中退防止・中退者支援のための取組) <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的に保護者宛に出席状況の文書を発送している。</li> <li>・出席不良になる手前での面談(担任または課長、副校長)を実施。また欠席時の保護者への連絡等を密におこない、家庭での声掛けなども含め学校保護者間とで状況を把握している。</li> <li>・学生アンケートを実施している。</li> </ul>		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	デザイン科 Webデザイン専攻	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	2160 単位時間／単位	240 時間	時間	1920 時 間	時間	時間
			2160 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40 人		46 人の 内数	人	1 人の 内数	15 人の 内数	16 人の 内数	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企業委員も含む教育編成会議を実施して教育内容を検討する。</li> <li>・実施前年度9月に変更があれば県へ学則変更を届け出て教育課程を確定する。</li> <li>・授業方法・内容（使用教科書等含）について確認・検討を行い、その後にシラバスの修正、作成を行う。作成は原則授業担当者とし、実施する前年度中に行う。</li> <li>・シラバスを示し、授業科目の内容等を説明し、授業の概要を理解させ、教科目の内容に興味関心を持って計画的に学習に取組めるようにする。</li> </ul>	
成績評価の基準・方法	
<p>（概要）</p> <p>実技試験、筆記試験、出席率、通常授業態度等を総合的に評価し、5割以上の評価（C段階以上）で単位取得とする。</p>	
卒業・進級の認定基準	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・各授業科目において4分の3以上の出席をすること。</li> <li>・一般教養科目、専門教育科目の必修科目を履修すること。</li> <li>・卒業・進級判定会議において卒業・進級に相応しいと判断された者。</li> </ul>	
学修支援等	
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・担任、課長、副校長との個別面談</li> <li>・カウンセラーによるカウンセリングの実施</li> </ul>	

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
24 人 (100%)	0 人 (0%)	21 人 (87.5%)	3 人 (12.5%)
<p>（主な就職、業界等）</p> <p>アビリブ、(株)アイリスオーヤマ、(株)メンバーズ、(株)日本マイクロニクス、津軽印刷(株)、仙台宝印刷(株)、(株)波デザイン、デザイン業界・印刷業界他</p>			
<p>（就職指導内容）</p> <p>模擬面接、履歴書作成指導、適性試験対策指導、関連業界企業による業界説明会</p>			

(主な学修成果 (資格・検定等) ) バンブーデザインコンテスト最優秀賞、色彩検定など
(備考) (任意記載事項) 『生徒実員』、卒業生数の割合及び中途退学者数の割合はデザイン科全体の情報です。

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
43 人	0 人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組)		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的に保護者宛に出席状況の文書を発送している。</li> <li>・出席不良になる手前での面談 (担任または課長、副校長) を実施。また欠席時の保護者への連絡等を密におこない、家庭での声掛けなども含め学校保護者間とで状況を把握している。</li> <li>・学生アンケートを実施している。</li> </ul>		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	デザイン科 グラフィックデザイン専攻	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼間	2160 単位時間/単位	240 時間	時間	1920 時間	時間	時間
			2160 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40 人		46 人の 内数	人	1 人の 内数	15 人の 内数	16 人の 内数	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業委員も含む教育編成会議を実施して教育内容を検討する。</li> <li>・実施前年度 9 月に変更があれば県へ学則変更を届け出て教育課程を確定する。</li> <li>・授業方法・内容 (使用教科書等含) について確認・検討を行い、その後にシラバスの修正、作成を行う。作成は原則授業担当者とし、実施する前年度中に行う。</li> <li>・シラバスを示し、授業科目の内容等を説明し、授業の概要を理解させ、教科目の内容に興味関心を持って計画的に学習に取り組めるようにする。</li> </ul>
成績評価の基準・方法
(概要)
実技試験、筆記試験、出席率、通常授業態度等を総合的に評価し、5 割以上の評価 (C 段階以上) で単位取得とする。
卒業・進級の認定基準
<ul style="list-style-type: none"> <li>・各授業科目において 4 分の 3 以上の出席をすること。</li> <li>・一般教養科目、専門教育科目の必修科目を履修すること。</li> <li>・卒業・進級判定会議において卒業・進級に相応しいと判断された者。</li> </ul>

学修支援等
(概要) ・担任、課長、副校長との個別面談 ・教頭・カウンセラーによるカウンセリングの実施

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
24人 (100%)	0人 (0%)	21人 (87.5%)	3人 (12.5%)
(主な就職、業界等) アビリブ、(株)アイリスオーヤマ、(株)メンバーズ、(株)日本マイクロニクス、津軽印刷(株)、 仙台宝印刷(株)、(株)波デザイン、デザイン業界・印刷業界他			
(就職指導内容) 模擬面接、履歴書作成指導、適性試験対策指導、関連業界企業による業界説明会			
(主な学修成果（資格・検定等）) バンブーデザインコンテスト最優秀賞、色彩検定など			
(備考)（任意記載事項） 『生徒実員』、卒業生数の割合及び中途退学者数の割合はデザイン科全体の情報です。			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
43人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) ・定期的に保護者宛に出席状況の文書を発送している。 ・出席不良になる手前での面談（担任または教頭）を実施。また欠席時の保護者への連絡等を密におこない、家庭での声掛けなども含め学校保護者間とで状況を把握している。 ・学生アンケートを実施している。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	デザイン科 映像デザイン専攻	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	2160 単位時間／単位	240 時間	時間	1920 時 間	時間	時間
			2160 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40 人		46 人の 内数	人	1 人の 内数	15 人の 内数	16 人の 内数	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企業委員も含む教育編成会議を実施して教育内容を検討する。</li> <li>・実施前年度9月に変更があれば県へ学則変更を届け出て教育課程を確定する。</li> <li>・授業方法・内容（使用教科書等含）について確認・検討を行い、その後にシラバスの修正、作成を行う。作成は原則授業担当者とし、実施する前年度中に行う。</li> <li>・シラバスを示し、授業科目の内容等を説明し、授業の概要を理解させ、教科目の内容に興味関心を持って計画的に学習に取組めるようにする。</li> </ul>	
成績評価の基準・方法	
<p>（概要）</p> <p>実技試験、筆記試験、出席率、通常授業態度等を総合的に評価し、5割以上の評価（C段階以上）で単位取得とする。</p>	
卒業・進級の認定基準	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・各授業科目において4分の3以上の出席をすること。</li> <li>・一般教養科目、専門教育科目の必修科目を履修すること。</li> <li>・卒業・進級判定会議において卒業・進級に相応しいと判断された者。</li> </ul>	
学修支援等	
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・担任、課長、副校長との個別面談</li> <li>・教頭・カウンセラーによるカウンセリングの実施</li> </ul>	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
24 人 (100%)	0 人 (0%)	21 人 (87.5%)	3 人 (12.5%)
<p>（主な就職、業界等）</p> <p>アビリブ、(株)アイリスオーヤマ、(株)メンバーズ、(株)日本マイクロニクス、津軽印刷(株)、仙台宝印刷(株)、(株)波デザイン、デザイン業界・印刷業界他</p>			
<p>（就職指導内容）</p> <p>模擬面接、履歴書作成指導、適性試験対策指導、関連業界企業による業界説明会</p>			

(主な学修成果(資格・検定等)) バンブーデザインコンテスト最優秀賞、色彩検定など
(備考)(任意記載事項) 『生徒実員』、卒業生数の割合及び中途退学者数の割合はデザイン科全体の情報です。

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
43人	0人	0%
(中途退学の主な理由) 進路変更 3		
(中退防止・中退者支援のための取組) ・定期的に保護者宛に出席状況の文書を発送している。 ・出席不良になる手前での面談(担任または教頭)を実施。また欠席時の保護者への連絡等を密におこない、家庭での声掛けなども含め学校保護者間とで状況を把握している。 ・学生アンケートを実施している。		

## ②学校単位の情報

### a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料(年間)	その他	備考(任意記載事項)
応用情報システム科	120,000円	670,000円	430,000円	その他は「施設設備整備費」「教材実習費」の合計値です
ITソリューション科	120,000円	670,000円	430,000円	その他は「施設設備整備費」「教材実習費」の合計値です
ミュージックスタッフ科	120,000円	700,000円	440,000円	その他は「施設設備整備費」「教材実習費」の合計値です
声優アーティスト科	120,000円	700,000円	440,000円	その他は「施設設備整備費」「教材実習費」の合計値です
イラスト・マンガアニメ科	120,000円	700,000円	400,000円	その他は「施設設備整備費」「教材実習費」の合計値です
ゲームクリエイター科	120,000円	700,000円	430,000円	その他は「施設設備整備費」「教材実習費」の合計値です
CGクリエイター科	120,000円	700,000円	430,000円	その他は「施設設備整備費」「教材実習費」の合計値です
デザイン科	120,000円	700,000円	430,000円	その他は「施設設備整備費」「教材実習費」の合計値です
修学支援(任意記載事項) ・特待生制度 各種優遇制度 独自奨学金制度等で授業料から減免を行なっている。				

### b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 下記ホームページアドレスで情報公開 <a href="https://das.ac.jp/schoolinfo/shugaku/">https://das.ac.jp/schoolinfo/shugaku/</a>
学校関係者評価の基本方針(実施方法・体制)

<p>学校法人菅原学園専門学校デジタルアーツ仙台が、実践的かつ専門的な職業教育にかかる活動等を評価し、その自己評価結果を企業等の役職員及び学校関係者と評価することにより、学生等が関係業界等のニーズを踏まえた質の高い職業教育を享受することを目的として、学校関係者評価委員会を設け、企業と連携をとり学校運営、教育活動に最大限反映させ、その内容を公開する。</p>		
<p>学校関係者評価の委員</p>		
所属	任期	種別
株式会社 オンサイト 代表取締役	令和7年4月1日 ～令和8年3月31日(1年)	企業等委員
株式会社EAM 代表取締役	令和7年4月1日 ～令和8年3月31日(1年)	企業等委員
岩手県立大学ソフトウェア情報学部 名誉教授	令和7年4月1日 ～令和8年3月31日(1年)	学会学術機関委員
株式会社 東北共立 代表取締役	令和7年4月1日 ～令和8年3月31日(1年)	企業等委員
株式会社メディアPR 代表取締役	令和7年4月1日 ～令和8年3月31日(1年)	企業等委員
公益社団法人定禅寺ストリートジャズ フェスティバル協会代表理事	令和7年4月1日 ～令和8年3月31日(1年)	業界団体
株式会社BBグラフィクス 代表取締役	令和7年4月1日 ～令和8年3月31日(1年)	企業等委員
本町新光町内会会長	令和7年4月1日 ～令和8年3月31日(1年)	町内会
卒業生(会社役員)	令和7年4月1日 ～令和8年3月31日(1年)	卒業生
<p>学校関係者評価結果の公表方法</p>		
<p>(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 下記ホームページアドレスで情報公開 <a href="https://das.ac.jp/schoolinfo/shugaku/">https://das.ac.jp/schoolinfo/shugaku/</a></p>		
<p>第三者による学校評価(任意記載事項)</p>		
<p style="background-color: #cccccc;"> </p>		

c) 当該学校に係る情報

<p>(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="https://das.ac.jp/">https://das.ac.jp/</a></p>
--

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード (13桁)	H104391010027
学校名 (〇〇大学 等)	専門学校デジタルアーツ仙台
設置者名 (学校法人〇〇学園 等)	学校法人菅原学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者数 ※括弧内は多子世帯の学生等 (内数) ※家計急変による者を除く。		71人 ( — )	71人 ( — )	75人 ( — )
内訳	第Ⅰ区分	29人	28人	
	(うち多子世帯)	( — )	( — )	
	第Ⅱ区分	26人	20人	
	(うち多子世帯)	( 0人 )	( 0人 )	
	第Ⅲ区分	13人	17人	
	(うち多子世帯)	( — )	( — )	
	第Ⅳ区分 (理工農)	0人	—	
	第Ⅳ区分 (多子世帯)	—	—	
区分外 (多子世帯)	0人	0人		
家計急変による 支援対象者 (年間)				0人 ( 0 )
合計 (年間)				75人 ( — )
(備考)				

※ 本表において、多子世帯とは大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）第4条第2項第1号に掲げる授業料等減免対象者をいい、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分（理工農）とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第2号イ～ニに掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等 短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人	0人	0人
修得単位数が「廃止」の基準に該当 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が廃止の基準に該当)	0人	0人	0人
出席率が「廃止」の基準に該当又は学修意欲が著しく低い状況	0人	0人	0人
「警告」の区分に連続して該当 ※「停止」となった場合を除く。	0人	-	0人
計	0人	-	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	0人	後半期	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

(1) 停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、停止を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
		年間	前半期
GPA等が下位4分の1	0人	0人	0人

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
		年間	前半期
修得単位数が「警告」の基準に該当 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位数が警告の基準に該当)	0人	0人	0人
GPA等が下位4分の1	0人	-	-
出席率が「警告」の基準に該当又は学修意欲が低い状況	0人	0人	0人
計	0人	-	-
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。